

December.2024

December.2024

NEWS 01

「日本スタートアップ大賞2024」にて PuREC株式会社「審査委員会特別賞」を受賞

医学部生命科学講座の松崎有未教授が立ち上げた島根大学発ベンチャー企業PuREC株式会社、経済産業省が主導する「日本スタートアップ大賞2024」で審査委員会特別賞を受賞しました。



写真提供:経済産業省

PuREC株式会社では、再生医療に

不可欠な幹細胞について極めて高品質な超高純度間葉系幹細胞「REC」を開発。大学や製薬会社に研究のための販売や支援を行っています。今回の受賞は、骨や脂肪などの再生、免疫調節、脳卒中や心筋梗塞などの治療を目指すRECの培養技術の革新と細胞治療に関する研究が高く評価されたものです。

7月22日(月)に総理大臣官邸で行われた授賞式では、代表取締役社長の高橋英之氏が、岸田総理に骨や軟骨の難病に苦しむ患者さんのためにRECを使った細胞治療を研究・開発する事業の意義を説明するとともに、日本内外の患者さんや医師・研究者からの期待の声も伝えました。

NEWS 02

ダイバーシティを推進していくためのシンポジウム開催

9月6日(金)、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)総括シンポジウム」を開催、対面で102名、オンラインで54名の方にご参加いただきました。

このシンポジウムは、2019年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業に採択された標記プログラム の最終年度となる今年、6年間の取り組みの有効性と持続性を高め、さらに広くダイバーシティの普及を図ることを目的として開催したものです。今後も、山陰地域における4つの高等教育機関をダイバーシティのプラットフォームとして、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行ってまいります。



NEWS 03

京都芸術大学との包括的連携協定を締結

島根大学は、学校法人瓜生山学園京都芸術大学(吉川左紀子学長)と包括的連携協定を結ぶこととなり、8月7日(水)に協定締結式が行われました。

島根大学の総合大学としての技術と京都芸術大学の強みである芸術分野を融合させることで学生教育や地域貢献に力を注いでいくことを目的として、まずは、こころとそだちの相談センター(岩宮恵子センター)長が開発する自己診断アプリの開発に対し、より精度の高い効果が得られるよう協力・連携。今後は社会実装につながる幅広い分野での共同プロジェクトを展開し、優秀な人材をともに育成していく予定です。



NEWS 04

日本材料学会にて「優秀講演発表賞」受賞

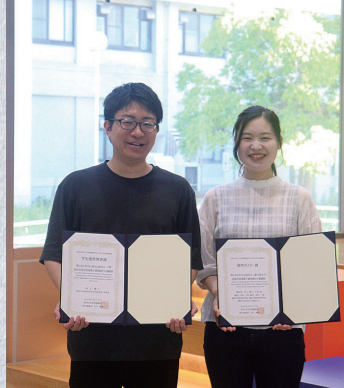
6月26日(水)に長崎県長崎市で開催された、第73期学術講演会(日本材料学会)において、自然科学研究科環境システム科学専攻博士前期課程2年生の浅野斗斗さん(指導教員:新大軌教授)が口頭発表を行い、「日本材料学会優秀講演発表賞」を受賞しました。日本材料学会は、機械、金属、化学、電気、建設、土木、農学など多岐にわたる分野を包括した材料学に関する総合的な学会です。浅野さんは、カーボンニュートラル実現に向けCO2を吸収・固定化する材料である、CO2固定型混和材の半乾式炭酸化に関する基礎的研究について発表を行いました。



NEWS 05

日本顕微鏡学会の「第80回学術講演会」で学生2名が受賞

6月3日(月)〜5日(水)に幕張メッセで開催された日本顕微鏡学会「第80回学術講演会」において、自然科学研究科(博士後期課程)創成理工学専攻の井上喬仁さんが「学生優秀発表賞」、自然科学研究科(博士前期課程)理工学専攻の福田英さんが「優秀ポスター賞」を受賞しました。



NEWS 06

エスチュアリー研究センター助教らが編集に携わった『図鑑プランクトン』刊行

エスチュアリー研究センターの仲村康秀助教が編集委員長として企画、編集し、川井田俊助教、大澤正幸研究員、林昌平助教(兼任教員)らが監修・執筆を行った小学館の『図鑑NEO POKKETプランクトンクラゲ・ミジンコ・小さな水の生物』が発売されました。約500種を掲載し、執筆・監修者が約60名という世界初の本格派の児童向けプランクトン・ベントス図鑑です。従来の専門的な図鑑とは異なり、水中写真を多数掲載したことで非常に美しいプランクトン・ベントスの写真が満載の一冊となりました(定価1,100円(税込)・全国書店にて販売中)。



NEWS 07

【採択率全国1位】「戦略的創造研究推進事業(さきがけ)」採択

人間科学部の豊島彩講師とエスチュアリー研究センター仲村康秀助教が、科学技術振興機構(JST)の「戦略的創造研究推進事業(さきがけ)」に採択されました。「さきがけ」は、独創的・挑戦的で国際的に高水準の発展が見込まれる先駆的な目的基礎研究を推進し、創造的な革新的技術のシーズを世界に先駆けて創出することを目的とした事業。若手研究者が異分野の研究者ネットワークを形成しながら、若手ならではのチャレンジングな個人型研究を推進するものです。なお、本学の「令和6年度さきがけ」の採択率は28.6%で、全国1位となりました。



仲村 康秀 助教

豊島 彩 講師